

# 教会

目的：黙示録に記された七つの教会から教訓を得て、キリストの永遠の王国を体現する教会、すなわちキリストの体への揺るぎない献身を通して、霊的な成功のための神の計画を鼓舞し、教えること。

## 導入

ギリシャ語の「エクレシア」(ἐκκλησία) は「集会」または「召し出された者たち」を意味し、教会を神の目的のために聖別された、神に選ばれた共同体と定義しています。教会は単なる人間の組織ではなく、神の王国に不可欠な、キリストの体である神聖な有機体です。王国とは、イエス・キリストを通して開始され(マルコ 1:15)、信者の生活の中に存在し(ルカ 17:20-21)、キリストの再臨によって完全に実現される(黙示録 11:15) 神の主権的支配です。普遍的教会と地域教会の両方が、この王国を体現し、献身、一致、宣教を通して神の意志を反映しています。黙示録 2 章と 3 章に登場する七つの教会、エフェソ、スミルナ、ペルガモ、ティアテラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオデキアは、忠実さと失敗の鮮やかな例を示し、信者たちに神の永遠の計画に沿うよう促しています。

## 1. 聖書における「教会」の意味

### A. 定義

エクレシア(ἐκκλησία)という用語は、神によって召し出された、世とは区別された神の民を指す。

- 普遍教会：時代を超えて救われたすべての信者の集合体であり、神の王国で神と共に住む運命にある(ヘブライ人への手紙 12:22-24、ヨハネの黙示録 7:9-10)。この教会は地上の境界を超越し、キリストへの信仰によって救われたすべての人々を含む(エペソ人への手紙 1:22-23)。
- 地域教会：特定の地域に集う、洗礼を受けた信者たちの集まりであり、使徒たちの教え、交わり、パンを裂くこと、そして祈りに専念する(使徒行伝 2:41-47)。これらは普遍教会の目に見える表現であり、神の国の原則を実践している。

## B. 聖書からの洞察

- 普遍教会：イエスは「わたしはわたしの教会を建てよう。陰府の門もそれに打ち勝つことはできない」（マタイ 16:18）と宣言しました。ギリシャ語の *katischyō* (κατισχύω、「打ち勝つ」) は、キリストの復活を通して教会が永遠に勝利することを強調しています。教会員の名前は天に記され、神の揺るぎない王国の一部となります（ヘブライ 12:22-24）。
- 地方教会：地方の集会では、共同礼拝と聖餐式が行われます（使徒行伝 2:42）。「パンを裂く」という意味の「*klasis tou artou*」(κλάσις τοῦ ἄρτου) という表現には、もてなしと主の晩餐の両方が含まれます（コリント人への手紙第一 11:23-26）。福音の広がりとともに、地方教会は増え（例えば、コリント人への手紙第一 16:19）、それぞれが神の国の価値観を反映しています。

## C. 教会と王国

教会は、神の王国が現在現れたものであり、そこでは信者を通して神の支配が行使されています（コロサイ 1:13-14）。教会は、キリストの再臨を待つ王国の完全な姿ではなく（黙示録 21:1-4）、神の支配が体験される共同体です。黙示録の七つの教会はこれを例証しています。忠実さ（ピストス、πιστός）で称賛されるスミルナとフィラデルフィアは、王国への献身を体現していますが、生ぬるさ（クリアロス、γλιαρός）を持つラオデキヤは拒絶される危険を冒しています（黙示録 3:16）。

### 2. 教会の力強い描写

聖書は、神の王国における教会の役割を描写するために、鮮やかな比喻を用いている（エペソ 2:19-22）。

- 神の家族：信者は家族であり、父なる神のもとに結ばれています（テモテへの手紙第一 3:15）。これは、フィラデルフィアの揺るぎない愛に見られるように（黙示録 3:9）、神の国の人間関係における一体性を反映しています。
- 建物：使徒と預言者の上に建てられ、キリストが礎石（ἀκρογωνιαίος）である（エフェソの信徒への手紙 2:20）。エフェソの教義の強さはこの土台に合致しているが、アガペー・プロテアー（ἀγάπη πρώτη、最初の愛）を失ったことが安定性を脅かしている（ヨハネの黙示録 2:4）。
- 聖なる神殿：神の霊は教会（ナオス、ναός、神殿）に宿る（コリント人への手紙第一 3:16-17）。スミルナの忍耐はこの聖なる空間を反映しているが、サルディスの霊的な死（ネクロス、νεκρός）はそれを冒瀆する（ヨハネの黙示録 3:1）。

- キリストの体：頭であるキリスト（ケファレー）が教会を導く（コロサイ 1:18）。テアテラの奉仕の多様性はこれを反映しているが、彼らが偽りの教え（ディダケー、*διδαχή*）を容認したことが一致を乱している（黙示録 2:20）。

### 3. 教会の一致

#### A. 普遍教会

すべての信者は、一つの霊によって一つの体へとバプテスマを受け（コリント人への手紙第一 12:12-13）、これは神の国の統一性（ヘノテース、*ένότης*）（エペソ人への手紙 4:4-6）を反映している。黙示録 7:9 に描かれている、多様でありながらも統一された教会は、このビジョンを実現している。

#### B. 地元の教会

- 一致には聖書との一致（*phroneō*、*φρονέω*、「同じ心」）が必要です（コリント人への手紙第一 1:10）。ペルガモがバラムの教えを容認したこと（*krateō didachē*、*κρατέω διδαχή*）は分裂を引き起こし、聖書への忠実さの必要性を示しました（黙示録 2:14）。
- 派閥（分裂、*σχίσμα*）は、コリントの教会に見られるように、教会を分裂させる（コリントの信徒への手紙一 1:12-13）。教会の統一は、キリストの主権の下にある神の国の調和を映し出す鏡である。

### 4. 七つの教会の評価

ヨハネの黙示録 2 章と 3 章に記された七つの教会への手紙は、それぞれの教会の霊的な状態を厳しく評価しており、現代の教会にとって教訓となる内容です。以下は、ギリシャ語原文に基づき、各教会の神の王国への忠実度を評価したものであり、イエスの満足度と、現在の状態において救われている可能性のある信徒の割合を推定したスコアを示しています。

- エフェソス（ヨハネの黙示録 2 章 1-7 節）
  - 評価：偽使徒を拒絶し、ニコライ派の行いを憎んだことは称賛されたが、アガペー・プロテー（*ἀγάπη πρώτη*、「最初の愛」）——キリストへの情熱的でハネムーンのような献身——が冷めて単なる教義上の正統性になってしまったこと——を放棄したことで叱責された。命令形のメタノエソン（*μετανόησον*、「悔い改めよ」）は緊急性を示しており、さもなければ燭台が取り除かれるだろう（黙示録 2:5）。

- 謎めいた要素と解釈：

\* ニコライ派：ニコライ派はここだけでなくベルガモンにも登場する（ヨハネの黙示録 2:6、15）。考えられる解釈としては以下のようなものがある。

・ 階層的支配（最も一般的な見解）：ギリシャ語の *nikao*（「征服する／打ち負かす」）＋ *laos*（「民衆／信徒」）から、彼らは権力欲の強い指導者であり、聖職者と信徒の分断を作ろうとし、対等に仕える代わりに一般の信者を支配した（マタイによる福音書 20 章 25-26 節とペトロの手紙一 5 章 3 節に反する）。

・ 道徳的妥協／反律法主義：初期教会の伝承では、彼らは使徒言行録 6 章 5 節で選ばれた 7 人の執事の 1 人であるニコラオス（「信仰と聖霊に満ちた人」）と結びついています。教父たち（例えばイレナイオス）は、ニコラオスやその追随者たちが墮落し、キリスト教徒は偶像崇拜や性的不道徳に自由にふけることができると教え、恵みが肉体を覆い霊は清らかに保たれるから自由を放縦に変えたと述べています。この道徳的境界の「征服」は異教の妥協への扉を開きました。イエスは彼らの行いを憎み（単に嫌うのではなく）、忌まわしいと感じています。なぜなら、それらは体における平等（キリストの前での平等な立場）を破壊し、教会全体を発酵させる罪そのものを招くからです（コリントの信徒への手紙一 5 章 6 節）。

\* 燭台：イエスは燭台の間を歩かれる（2:1）。「燭台」（リュクニア、*λυχνία*）は教会そのものを象徴している（黙示録 1:20）。燭台を取り除くということは、イエスがもはやその特定の地方教会を、ご自身の王国における正当な光をもたらす教会として認めない、あるいは認識しないことを意味する。教会は外見上は存続するかもしれないが、キリストの前哨基地としての共同体としての地位と証しは取り消され、その光は消え去るか、あるいは別の場所に移される。これは幕屋の燭台（出エジプト記 25:31-40）と十人の乙女の備え（マタイによる福音書 25:1-13）を想起させる。「最初の愛」を失うことは、ヘブライ人への手紙 2:1 で警告されているのと同じ漂流の危険を伴う。

\* 勝利者への報酬：「命の木」へのアクセス（創世記 3 章の繰り返し）。

- 推定スコア：45/100 - 教義はしっかりしているが、信仰心が欠けている。

- 推定節約率：40% - 多くの人が悔い改めなければ地位を失うリスクを負う。

- スミルナ（ヨハネの黙示録 2 章 8-11 節）
  - 評価: 迫害 (thlipsis, θλίψις) に耐えたことで表彰されましたが、叱責はありませんでした。ピストス・アクリ・タナトウ (πιστός ἄχρι θανάτου、死に至るまで忠実) であるよう勧告されている (黙示録 2:10)。
  - 謎めいた要素: 「サタンの会堂」は、信者の中傷する偽りの主張者を指し示している (ローマ 2:28-29)。報酬: 「命の冠」(ヤコブ 1:12)。
  - 推定スコア: 95/100 –ほぼ完璧な忠実度。
  - 節約できたと推定される割合: 95%–そのほとんどは正当な状態にある。
  
- ペルガモ（ヨハネの黙示録 2 章 12-17 節）
  - 評価: 敵対的な環境下では忠実であったが、偽りの教えを唱えたとして批判された (黙示録 2:14)。
  - 謎めいた要素と罪:
    - \* 「サタンの玉座」とは、異教徒や帝国の拠点を指し示している (エフェソの信徒への手紙 6:12)。
    - \* 「バラムの教え」(民数記 22~25 章、31 章) は、イスラエルをバアル・ペオルでの偶像崇拜と性的不道徳に誘惑すること (民数記 25:1-9) —— 偶像に捧げられた食物を食べ、ポルネイア (カルト売春を含む不法な性行為) を行うこと —— を含んでいた。これはまさに肉の行い (ガラテヤ 5:19-21: ポルネイア、偶像崇拜) に一致し、悔い改めなければ王国の相続を妨げ (第一コリント 6:9-10、黙示録 21:8 は「性的不道徳な偶像崇拜者」を火の池に投げ込むと列挙している)、パン種のように広がり、共同体全体に背教をもたらす危険性がある (第一コリント 5:6-13: 「悪人を排除せよ」)。
    - \* ニコライ派の教えは、支配と道徳的自由を融合させたものとして、ここで関連付けられている。エフェソスも参照のこと。
    - \* 勝利者への報い: 「隠されたマナ」と「白い石」(イザヤ書 62:2)。
  - 推定スコア: 35/100 –異端によって損なわれている。
  - 節約できると推定される割合: 30%–多くの人が道を踏み外している。
  
- テアテラ（ヨハネの黙示録 2 章 18-29 節）

- 評価：愛と奉仕で知られているが、イゼザベル (Ἰεζάβελ) を許し、不道徳に導いたことで非難されている。忠実なロイポイ (λοιποί、残りの者) が残っている (黙示録 2:24)。

- 謎めいた要素と罪：

\* 「イゼザベル」は、旧約聖書に登場する、バアル崇拜、偶像崇拜、聖なる売春 (列王記上 16:31-32、列王記下 9) —— 霊的な姦淫とポルネイア —— を推進した女王を想起させる。テアテラのギルド文化では、これは異教の宴会に商売のために参加すること (偶像の食べ物+不道徳) を意味した。これは、肉の行い (ガラテヤ人への手紙 5:19-21) として、また神の国から排除される罪 (コリント人への手紙第一 6:9-10、ヨハネの黙示録 21:8) として警告されているポルネイアと偶像崇拜と同じである。

\* 「サタンの深遠な事柄」とは、皮肉にも神の真の深遠さとは対照的です (コリント人への手紙第一 2:10)。悔い改めなければ、そのような罪は誤りの霊を通して背教を助長します (ユダの手紙 1:4、テモテへの手紙第一 4:1)。

\* 報酬：諸国を支配する権威 (詩篇 2 篇) と「明けの明星」。

- 推定スコア：30/100 – 重大な倫理的欠陥。

- 推定節約率：25% – 忠実な信者は少数派に過ぎない。

• サルディス (ヨハネの黙示録 3 章 1-6 節)

- 評価：ネクロス (νεκρός、死亡) と呼ばれ、オリガオノマタ (ὀλίγα ὀνόματα、名前は少ない) のみが忠実です (黙示録 3:1、4)。

- 謎めいた要素と詳細な解説：

\* サルディスは、かつては偉大な都市であり、輝かしい歴史を誇っていました。クロイソス王 (富豪として有名) の治世下、リュディア帝国の首都でしたが、ローマ時代には著しく衰退していました。過信が原因で、歴史上二度陥落しました。一度目はペルシアのキュロス王 (紀元前 547 年) によって、守備兵が油断して都市が不意を突かれ、二度目はその後でした。都市は急な丘の上に築かれ、一見難攻不落に見える城壁がありましたが、油断のために脆弱でした。人々は警戒を怠り、評判や過去の栄光に頼っていたのです。イエスはこの歴史を教会に対して用いてこう言います。「あなたがたは生きているという評判があるが、実際は死んでいるのだ」(1 節)。

\* 都市と同様に、サルディス教会もかつての評判 —— おそらく初期の熱意や著名な信

徒たち —— に頼っていたが、靈的には生気を失っていた。彼らの「行い」は神の前で「不完全」であった（2 節）。これは、未完成、中途半端、あるいは偽善的、つまり内面の真実を伴わない外面的な活動を意味する。「汚れた衣」（4 節）は、妥協や怠慢による汚れ、つまり世に染まり、王にふさわしくない状態を象徴している（忠実な残りの者に与えられた、清らかさと復活の栄光の「白い衣」とは対照的である）。この都市が上質な羊毛の染色で有名であったこと（白い衣は高く評価されていた）は、皮肉をさらに際立たせている。彼らは物質的には「白」であったが、靈的には汚れていたのだ。この警告は、旧約聖書の「目を覚ませ！」という呼びかけを彷彿とさせる。（3 節）は、眠気によるサルディスの歴史的な転落を思い起こさせ、イエスは盗人のように来ると言っています（テサロニケ人への手紙第一 5:2-4、マタイによる福音書 24:43 参照）—準備のできていない者への予期せぬ裁き。

- \* しかし、忠実な残りの者たちが存在する。「わずかな名」（4 節）の者たちは、命の書から名前が消されることなく（5 節、出エジプト記 32:32-33、詩篇 69:28、フィリピ 4:3 参照）、汚れのない者たちには永遠の安全が保証されている。勝利者たちは白い衣（清さ、勝利）をまとい、父と天使たちの前でその名が告白される（5 節、マタイ 10:32 参照）。
- \* サルディスはラオデキヤに次いで最も厳しい警告であり、ほとんどが死に絶え、わずかな残党だけが生き残っている。それは、心が冷え、行いが未完成のまま、過去の業績や評判、外面的な形式に安住することへの警告である。真の人生には、警戒心、神が始められたことを成し遂げること（ピリピ 1:6）、そして汚れのない忠実さが必要である。

– 推定スコア：10/100 –ほとんど生命感がない。

– 節約できる割合（推定）：5%–ごくわずかな節約になります。

- フィラデルフィア（ヨハネの黙示録 3 章 7-13 節）

– 評価: 力不足 (ὀλίγη δύναμις、力がほとんどない) にもかかわらず、キリストの言葉 (テレオ・ロゴス、τηρέω λόγος) を守ったことで称賛される (黙示録 3:8)。

– 謎めいた要素と解説：

- \* フィラデルフィアは地震の多い小さな都市でした（頻繁な揺れで建物が倒壊したため、安定性が重視されました）。イエスは、限られた人間の力で神の言葉を堅く守っ

た彼らを称賛し、世俗的な力ではなく神の力に頼ることを強調しました（ゼカリヤ書 4章6節「力によるのではなく、権力によるのではなく、わたしの霊によって」参照）。「サタンの会堂」とは、信者を迫害する偽りの主張者たちを指しています（ローマ人への手紙 2章 28-29節）。

- \* キリストは「ダビデの鍵」（イザヤ書 22章 22節）を握っておられる。それは、機会、使命、そしてアクセスの扉を開いたり閉じたりする主権的な権威であり、誰もそれを覆すことはできない。
- \* 勝利者への約束 —— 「わたしは彼をわたしの神の神殿の柱とする。彼は二度とそこから出ることはない」（12節） —— は力強いイメージである。柱は永続性と安定性を象徴する（都市の地震とは対照的である）。神の永遠の神殿（黙示録 21:22）において、忠実な者たちは神の臨在の揺るぎない一部となる。彼らは三つの名前を記される。神の名、新しいエルサレム（天から降りてくる都、黙示録 21:2）の名、そしてキリストの新しい名 —— 王国における完全な帰属、市民権、親密なアイデンティティ（イザヤ 62:2、黙示録 2:17）である。

- 推定スコア：90/100 –非常に忠実。

- 推定節約率：90%–ほとんどが節約されます。

- ラオデキア（ヨハネの黙示録 3:14-22）

- 評価: クリアロス (γλιάρος, ぬるい) として叱責され、拒絶に直面する (エメサイ, ἐμέσαι, 吐き出す) (黙示録 3:16)。

- 謎めいた要素と詳細な解説：

- \* ラオディキアは裕福で（銀行業の中心地であり、黒い羊毛織物や有名な目薬の産地でもあった）、自立していた（西暦 60 年の地震の後、ローマの援助なしに再建された）。教会もこれと似ていた。「あなたがたは、『私は富んでいる、裕福になった、何も不足していない』と言っている」（17節）。イエスは皮肉を指摘する。彼らは「惨めで、哀れで、貧しく、盲目で、裸だ」と。

- \* 「ぬるま湯」は、都市の水道水から汲み上げられた。温泉から水道橋を通して送られてきた水は、ぬるくて吐き気を催すほどだった。ヒエラポリスのように熱くもなく（癒しや治療効果）、コロサイのように冷たくもない。ぬるま湯は役に立たず、吐き気を催すだけだった。教会の行いも同様で、霊的に活力を与えることも、浄化や癒しを

もたらすこともなく、自給自足は生産性のない、自己満足的な信仰を生み出した。

- \* イエスの処方箋は、彼らのプライドの要点を皮肉的に用いています。「火で精錬された金をわたしから買いなさい」（清められた信仰による真の富、ペテロ第一 1:7）、「白い衣」（キリストの義が恥を覆う、黙示録 19:8）、「目の薬」（彼らの真の姿を見るための霊的な視力）。イエスは愛する者たちを懲らしめ（19 節）、熱心な悔い改め（ゼロー）へと招きます。「見よ、わたしは戸口に立ってたたいている」（20 節）という招きは、門を開ける者すべてに個人的な交わり（共に食事をする＝親密さ）を提供します。勝利者はキリストと共に御座に座ります（21 節）。

– 推定スコア：5/100 –ほぼ挽回不可能。

– 節約できると推定される割合：5%–正当な立場にある人はごくわずかです。

全体的な推定：これらの教会の会員の約 40%が救われていると考えられ、これはギリシャ語のテキストにおける賞賛と叱責のバランスを反映している（例：悔い改めは *metanoēson*、霊的な死は *nekros*）。

## 5. 地域教会におけるリーダーシップと権威

神の王国は、任命された指導者を通して運営される。

- 指導者への敬意：長老（長老、*πρεσβύτεροι*）は牧者として尊敬される（テモテへの手紙第一 5:17）。スミルナが試練に耐え抜いたことは、敬虔な指導者への服従を反映している。
- 彼らの信仰を見習う：指導者たちは忠実さ（ピスティス、*πίστις*）（ヘブライ人への手紙 13:7）を模範として示す。フィラデルフィアの従順さに見られるように。
- 権威に従うこと：監督者（エписκοποι、*ἐπίσκοποι*）に従うことは、王国の秩序（ヘブライ人への手紙 13:17）を促進し、ラオデキヤの自己依存に対抗する。

## 6. 交わりへの献身

- 集会の目的：信者たちは、愛と善行へと互いに励まし合うために集まる（ヘブライ人への手紙 10:24-25）。エフェソスがアガペーを維持できなかったことは、交わりを軽視することの代償を示している。
- 与えることへの献身：共同体（コイノニア、*κοινωνία*）に貢献することは、ラオデキヤの自給自足とは異なり、神の国の無私（使徒行伝 2:44-45）を反映しています。

## 7. 神の多様な知恵の表現としての教会

- 永遠の目的：教会は神の多様な知恵（エペソ 3:10）を明らかにします。フィラデルフィアの忠実さは、この知恵を体現しています。
- 神への信頼：信者は、サルディスの霊的な死とは異なり、教会を通して大胆さ（パレーシア、παρρησία）をもって神に近づく（エフェソ 3:12）。
- 献身への呼びかけ：使徒行伝 2 章 42 節にあるように、出席と奉仕を通しての完全な献身は、神の計画に合致する。

## 8. 教会と神の国：より深い探求

王国とは：

- 現在と未来：キリストを通して開始された（ἐγγικεν、ἤγγικεν、近づいた）が、未来のこともある（黙示録 11:15）。
- 霊的かつ目に見える形で：信者の心の中で（ルカ 17:20-21）、そして教会の宣教を通して（マタイ 5:14-16）。
- 変革的：教会は神の国の拠点として、人々の生活を変革します（メタノイア、μετάνοια、悔い改め）（マタイ 28:19-20）。
- 永遠：教会は神の永遠の統治を待ち望んでいる（黙示録 22:1-5）。七つの教会の様々な記録—— スミルナの忠実さとラオデキヤの失敗 —— は、揺るぎない献身を促す。

## 結論

教会は、神が御国を現すための道具です。黙示録に記された七つの教会は、霊的な漂流（ネクロス、クリアロス）を戒め、忠実さ（ピストス）を称賛しています。教会への出席、交わり、指導者への服従を通して地域教会に献身することは、霊的な成長を保証し、神の永遠の計画に合致するものです。七つの教会の信徒のうち、救われた状態にあったのはわずか 40% 程度であったと考えられ、信徒たちはイエスの「悔い改めよ」（メタノエソン）という呼びかけに耳を傾けるよう促されています。

## 聖書に基づいた実践的なヒント

- コロサイ人への手紙 1:18: 教会の頭であるキリストに従いなさい。

- コリント人への手紙第一 12:12-27: 共同体の中で相互依存を受け入れましょう。
- ヘブライ人への手紙 10 章 24-25 節：疎遠にならないように、コイノニア（交わり）を優先しなさい。
- 使徒行伝 2 章 42-47 節：初期教会の信仰心を見習いなさい。
- エペソ人への手紙 2:19-22: キリスト、すなわち礎石の上に建てなさい。

## 行動喚起

七つの教会が教えるように、地元の教会に全身全霊を捧げなさい。すべての集会に出席し、無私に奉仕し、神の王国に歩調を合わせ、サルディスとラオデキアの失敗を避け、スマルナとフィラデルフィアを見習いなさい。

要約表：神の王国表現としての教会 — 聖書の中心的な教え

| テーマ/セクション   | 聖書の重要な概念/比喩                   | 聖書の主要な参照箇所   | 実践的な応用/コミットメントへの呼びかけ                              | 7つの教会からの肯定的な模範      | 7つの教会からの否定的な警告       |
|-------------|-------------------------------|--|---|---------------------|----------------------|
| 聖書における教会の意味 | エクレシア=召集された集会；普遍的かつ地域的        | マタイ 16:18、使徒 2:41-47、エフェソ 1:22-23、ヘブライ 12:22-24        | 教え、交わり、パンを分かち合い、祈りに専念する、目に見える形で地域に根付いた集会に参加しましょう。 | フィラデルフィア、スマルナ (忠実な) | ラオデキア (生ぬるい無関心)      |
| 教会と王国の関係    | 神の統治の現存する現れであり、将来の完全な統治を予見する。 | マルコ 1:15、ルカ 17:20-21、コロサイ 1:13-14、ヨハネの黙示録 11:15、21:1-4 | 献身、一致、宣教を通して、今の国の価値観を実践しよう                        | スマルナ、フィラデルフィア       | サルディス (死)、ラオデキア (自立) |

| テーマ／セクション   | 聖書の重要な概念／比喻                  | 聖書の主要な参照箇所  | 実践的な応用／コミットメントへの呼びかけ           | 7つの教会からの肯定的な模範       | 7つの教会からの否定的な警告                   |
|-------------|------------------------------|---|--------------------------------|----------------------|----------------------------------|
| 力強い描写       | 家庭、建物（キリストの礎石）、聖なる神殿、キリストの体  | エペソ 2:19-22、1 コリント 3:16-17、1 テモテ 3:15、コロサイ 1:18       | キリストの上に築き、純粋さを保ち、相互依存的に機能する    | フィラデルフィア（柱となる約束）     | エフェソス（失われた愛が安定を脅かす）、サルディス（汚れた衣服） |
| 教会の統一       | 一つの体には一つの霊が宿る。同じ心を持ち、派閥を避ける。 | コリント人への手紙第一 12:12-13、エフェソ人への手紙 4:4-6、コリント人への手紙第一 1:10 | 聖書の教えに基づく一致（フロネオ）を追求し、分裂を拒絶せよ。 | —                    | ペルガモ（誤った教えが分裂を引き起こした）            |
| リーダーシップと権威  | 長老／長老を敬い、監督に従う。              | 1 テモテ 5:17; ヘブライ 13:7,17                              | 忠実な指導者を見習い、命令に従いなさい            | スマーナ、フィラデルフィア        | ラオディキア（自給自足主義、権威を無視）             |
| 交わりへの献身     | 互いに愛と善行を促し合い、資源を分かち合う。       | ヘブライ人への手紙 10:24-25、使徒言行録 2:44-45                      | 集まり、与えること、コイノニアを優先する           | —                    | エフェソス（愛を顧みない）、ラオディキア（自己中心的）      |
| 多様な知恵と永遠の目的 | 教会は神の多面的な知恵を明らかにする。大胆なアクセス   | エペソ 3:10,12   | 自信を持って神に近づき、永遠の王国の前哨基地として奉仕せよ。 | フィラデルフィア（多様な知恵が示された） | サルディス（死は知恵を隠す）                   |

| テーマ/セクション | 聖書の重要な概念/比喩          | 聖書の主要な参照箇所                                   | 実践的な応用/コミットメントへの呼びかけ         | 7つの教会からの肯定的な模範         | 7つの教会からの否定的な警告           |
|-----------|----------------------|--|------------------------------|------------------------|--------------------------|
| 総合評価      | 全面的に献身することは神の計画に合致する | 使徒行伝 2:42-47、コロサイ人への手紙 1:18、エペソ人への手紙 2:19-22 | 忠実に出席し、無私に奉仕し、必要に応じて悔い改めなさい。 | スマーナ & フィラデルフィア (ピストス) | サルディスとラオデキア (ネクロス、クリアロス) |

要約表：黙示録 2～3 章に登場する七つの教会の評価

| 教会    | 主な賞賛                | 重要な叱責/重大な失敗                       | 推定スコア (イエスの満足度) | 節約できると推定される割合 | 主要な霊的警告/教訓           |
|-------|---------------------|-----------------------------------|-----------------|---------------|----------------------|
| エフェソス | 強固な教義、偽使徒とニコライ派を拒絶  | 捨てられた初恋 (アガペー・プロテー); ランプスタンド撤去の危険 | 45/100          | 40%           | 熱心な信仰心のない教義は不十分である。  |
| スミルナ  | 迫害下でも忠実であり、叱責を受けない。 | なし                                | 95/100          | 95%           | 試練に耐えることはキリストを喜ばせる。  |
| ペルガモ  | サタンの要塞にしっかりと囚われている  | バラム/ニコライ派の教え (偶像崇拜と不道徳) を容認した。    | 35/100          | 30%           | 偽りの教えとの妥協はパン種のように広がる |

| 教会               | 主な賞賛                          | 重要な叱責／重大な失敗                       | 推定スコア<br>(イエスの満足度) | 節約できると推定される割合 | 主要な霊的警告／教訓                    |
|------------------|-------------------------------|-----------------------------------|--------------------|---------------|-------------------------------|
| ティア<br>ティラ       | 愛、奉仕、成長の作品                    | 「イゼベル」(ポルネイア、偶像崇拜、サタンの深遠な事柄)を容認した | 30/100             | 25%           | 不道德な教義を容認することは、教会全体を脅かす。      |
| サルデ<br>イス        | 忠実な名前がいくつか残っている               | 精神的に死んでいく(ネクロス); 未完成の作品; 評判に頼っている | 10/100             | 5%            | 過去の栄光は現在の生活に欠け、裁きへと導く。        |
| フィラ<br>デルフ<br>ィア | 力がほとんどないにもかかわらず、キリストの言葉を守り通した | なし                                | 90/100             | 90%           | 神への信頼と忠実さが扉を開く                |
| ラオデ<br>ィキア       | なし                            | ぬるま湯(chliaros)、自給自足; 吐き出される危険性がある | 5/100              | 5%            | 自己満足と自己依存はキリストにとって忌まわしいものである  |
| 全体               | —                             | —                                 | 約 40/100<br>(平均)   | 約 40%         | 賛否両論ある記録は、悔い改め(メタノエソン)と警戒を促す。 |